



インターネットにつながるとき

守ってほしい、大切なこと

インターネットは便利で大きな可能性があり、世界中とつながることができますが、それを悪用する人もいます。一人一人が意識して自分の身を守ることが大切です。

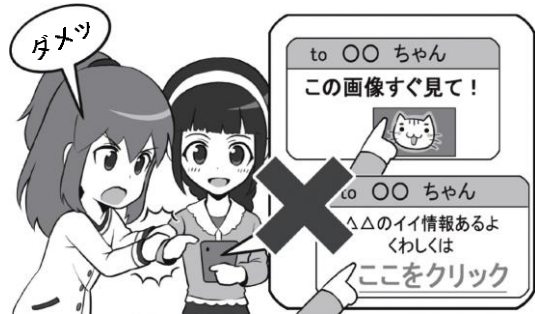
1 パスワードは友達にもヒミツ

家の鍵と同じで、盗まれるとパソコンに侵入されて悪用されます。誕生日など簡単に分かるのもダメ。できるだけ長くても複雑なパスワードにしてヒミツの場所に保管するか、先生や保護者と相談しましょう。



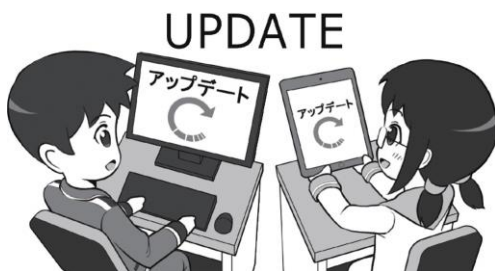
2 メールリンクやファイルはすぐには開かない

パソコンを乗っ取るウイルスが仕込まれていたり、パスワードなどを盗もうとしたりします。LINE などでも同じように注意。不安な気持ちや「心の隙」を突いてきて、知っている人になりすますこともあるので、変だと思ったら誰かに確認しましょう。



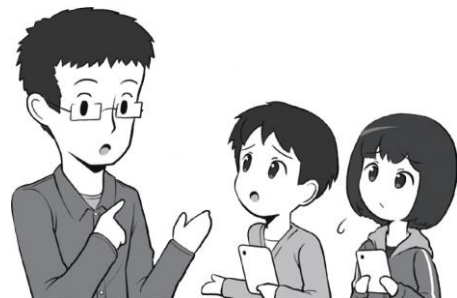
3 パソコンなどは常に最新の状態にして弱点をなくす

アプリやソフトが古いまま弱点が残っていると、そこを悪い人や最新のウイルスが狙ってきます。「後で」にせず、最新にアップデートしましょう。スマホも同じです。ただし、学校のパソコンなどは大人がちゃんと守っているので、自分でする必要はありません。



4 困ったら大人に相談しよう

相談することは悪いことではありません。ここに書いてあるポイントを守っていても、悪い人が狙ってくることもあります。困ったら、一人で悩んだりそのままにしたりせず、詳しい人や信頼できる大人にまずは相談しましょう。



- **「パスワード」について**：長くても複雑なほど盗まれにくくなります。アルファベットや数字、記号を組み合わせたものにしましょう。他で使っているパスワードと同じものを使い回さないこと。さらに、パソコンやソフトを使うとき（ログインなどと呼ばれます）、パスワードだけでなく、スマホの機能や指紋認証なども組み合わせれば、もしパスワードが盗まれても守られます。このように、「あなたしか知らないもの（例：パスワード）」「あなたしか持っていないもの（例：スマホに届くショートメッセージ）」「あなた自身を表すもの（例：指紋）」といった別の要素の方法を組み合わせることを「多要素認証」と言い、さらに強く守る方法になります。
- **「アップデート」について**：パソコンやスマホなどに入っているアプリやソフトは、攻撃で狙われるような弱点が見つければ、作った人がそれを修正して、使っている人に知らせます。これを「アップデート」といいます。いつも使っているアプリやソフトがアップデートしてきたときは、速やかにアップデートしましょう。

